

# 能登教務所通信

5月

教区教化テーマ

人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

教区教化事業のご案内

**◆教区同朋大会◆ 総合教化本部**

- ・日時 2023年5月27日(土) 午後1時30分～午後3時30分
- ・会場 能登教務所(済美精舎)
- ・テーマ つながりの再生 ～人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん～
- ・講師 相馬 豊 氏(金沢教区道因寺住職)
- ・参加費 500円

詳細は先月号同封のチラシにてご覧ください。

なお、参加券は組長事務所にありますので、5月12日(金)までに参加費と引き換えにお受け取りください。

**当日の駐車場について**

同朋大会当日、教務所以外に臨時駐車場(①大谷済美センター ②オックスセレモニーセンター ③オックス第2駐車場 ④オックス別館)をご用意しています。地図を同封しておりますので、ご確認ください。

なお、**教務所駐車場**は詰めて駐車するため、**途中出庫はできません**のでご注意ください。

**◆こころの広場◆ 同朋会推進部門**

- ・日時 2023年5月20日(土) 午後2時～午後4時
- ・講師 埴山 法雄 氏(高岡教区聞願寺)
- ・講題 未定
- ・定員 20名 ※先着順。チラシの申込用紙、メール、電話にてお申し込みください。(5/7 締切)
- ・参加費 500円

**◆真宗に学ぶつどい(第2回)◆ 同朋会推進部門**

- ・日時 2023年5月11日(木) 午後2時～午後4時
- ・会場 蓮浄寺(第14組)※第1回目と会場が変更となっておりますのでご注意ください。
- ・講師 木越 祐馨 氏(第5組光琳寺)
- ・テーマ 真宗本廟―東本願寺の沿革―
- ・参加費 500円/1回
- ・備考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。詳細は先月号同封のチラシをご覧ください。

## ◆教区男女平等参画推進事業◆ 教区同朋社会推進協議会

- ・日 時 2023年5月11日(木) 午後1時30分～午後4時
- ・会 場 能登教務所
- ・講 師 藤井 如子 氏(真宗大谷派准堂衆補・第13組明願寺)
- ・テーマ 皆が声を出しやすい声明を目指して
- ・備 考 詳細は先月号同封のチラシをご覧ください。

## ◆大無量寿経講義◆ 研修部門

- ・日 時 2023年5月29日(月)午後1時30分～30日(火)午後2時30分
- ・講 師 本多 弘之 氏(親鸞仏教センター所長)
- ・持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)、筆記用具等
- ・参加費 1,000円 ※Web 同額
- ・定 員 20名 ※先着順/要申込
- ・備 考 チラシの申込用紙、メール、電話にて5月22日(月)までにお申し込みください。  
また、教師陞補第2種認定の講座となります。  
※詳細は同封のチラシをご覧ください。

## 教化事業・その他行事のご報告

## ◇慶讃法要のライブ中継を開催しました◇ 慶讃事業推進委員会

去る、4月8日(土)、済美精舎本堂にて、「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」のライブ中継を行いました。ライブ中継では、第1期法要の最終日に厳修の「結願法要」を大型スクリーンで放映いたしました。当日は、能登教区内の御門徒を中心に、合計26名の方々が参拝されました。



参堂列(大寝殿からの稚児を伴った出仕列)や舞楽(雅楽による舞)や行道散華(内陣を回りながら散華)など、慶讃法要の結願でなければ出遇えない儀式が放映され、随時、第10組

往還寺住職の松下文映氏より解説をいただきました。参拝者からは、「非常に分かりやすい解説のおかげで、画面越しでも集中力が落ちることなく、有意義な時間を過ごすことができました。」「会場ではおもてなしもいただき、親しみやすい雰囲気がありました。」「皆さんと一緒に慶讃法要と出遇うことができ良かった」等のお声を頂戴しております。



解説の松下文映氏

## 「人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん」に寄せて

親鸞聖人は『唯信鈔』の中の人間という言葉に「ひととむまるるをいう」という左訓(語註)を残されているそうです。そのことについて話されていたある先生が、「人に生まれて」だと、「人に生まれた」という結論に近い感じがする。「人と生まれて」だと、「それから」と続く感じがする」と言われていました。私はその言葉を聞いた時、単純にそうだなと思いました。親鸞聖人の左訓にそのような意味が込められているかはわかりませんが、少なくとも今回のテーマでは、人と生まれた意味を確かめていくことと共に、「それから」の歩みが表明されているかと思います。

表明された歩みは「能登の大地に親鸞と生きん」ですね。私は最初にこのフレーズを見た時に、少し違和感がありました。単に「親鸞と生きん」でもいいのか、「能登の大地に」は必要なのか、そう思ったのです。少し考えましたのは、現在、教区改編問題により能登教区は金沢教区と合併する話が進んでいるということです。その中でなくなる能登教区の最後の記念碑的に入れたのか。あるいは教区改編に断固反対するという意思表示なのか。ちょっと意味深だなと思いました。

教区改編につきましては、私個人としましてはあまり妥当な理由が感じられないので、反対です。しかし、能登教区の代表の方達が出された『合意書(案)』が全て通り、教区内の過半数の方が賛成するのであれば、それでもいいかとも思います。ただ、このままなし崩し的に進められるのは嫌なので、合併するにしろ、しないにしろ、しっかり考え、皆の賛否を聞いた上で決めていただきたいです。

話は逸れましたが、「能登の大地に」についてもう少し考えてみますと、能登は真宗王国の一角としてたくさんの人々が門徒として生きてきた地でした。それは親鸞聖人の教えが、里山里海という過酷な環境の中に生きるいし・かわら・つぶてのごとくなる人々が救われるものだったからではないかと思います。念仏の教えこそが、そんな我々が救われる道であったからだと思うのです。

そして現在、我々の生活は豊かになったのかもしれませんが、しかし能登は急激な過疎化が進んでいます。過疎化が進むのはここに生きていくための糧・仕事がないからです。そういう意味では能登は昔より過酷な環境になったのではないかと思います。

また、これは能登だけのことではないのかもしれませんが、現代は様々な娯楽があふれ、生老病死をはじめとする苦を見ないようにする生活スタイルとなり、「宗教離れ」「お寺離れ」の風潮が見受けられます。そのことと、ご門徒さんからの念仏の声が少なくなったこととは、無縁ではないのでしょうか。

これまで能登には念仏の僧伽が当たり前のものとしてありました。それが今は過疎化・時代性によって失われつつあります。「親鸞と生きん」、親鸞と生きるとは親鸞聖人の教えに生きるということでしょう。親鸞聖人の教えは「称名念仏する」というものです。称名念仏は共に生きる同朋・僧伽を抜きには成り立たないのです。今回のテーマは、失われつつある僧伽の問題に真向かいになったものであり、「それでもやはり我々が救われる道は念仏なのであり、共に念仏していこう」という表明・願いであると私は受けとめました。このようなテーマをご門徒さんもまじえた能登の御同朋の中から出たことは心強いことだと思いましたし、私もまた念仏し、念仏の声を聞き取って行こうと思います。

文責：岩垣 秀一(総合教化本部員/教区同朋社会推進協議会会長)

## 本山・教区事務についてのご連絡

### ◇教務所事務休止について◇

5月27日(土)は教区同朋大会のため、廃休とさせていただきます。

併せて、教区同朋大会のための廃休により、下記の期日を事務休暇(振休)とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

振休日 6月2日(金)

**緊急連絡先 090-5685-5611 (教務所携帯電話)**

### ◇宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金の記念品の御扱いについて◇

「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金」の御依頼につきまして、まもなく、本年6月30日をもって募財期間が終了いたします。あらためての御案内となりますが、慶讃懇志金の扱いにつきましては、「記念品扱い」と「相続講扱い」とがございます。「記念品扱い」でお納めいただいた御寺院におかれましては、記念品(ボールペン、5千円以上お納めいただいた方は併せて腕輪念珠)を贈呈させていただいております。「記念品扱い」でお納めいただいている御寺院で、記念品をお受けになられていない御寺院におかれましては、本年6月末日を目途に教務所までお申し出ください。

### ◇本山経常費完納寺院◇(2023.3.1~3.31迄)

2022年度本山経常費をご完納いただき、ありがとうございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	得生寺	第8組	徳寶寺	長明寺
第3山方組	照願寺	鶺川組	寶藏寺	
第5組	真覺寺	第14組	徳生寺	
第7組	長徳寺			

### ◇宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金完納寺院◇

(2023.3.1~3.31迄)

2019年度より募財をお願いしております慶讃懇志金につきまして、ご完納いただきありがとうございます。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第5組	本誓寺	鶺川組	寶藏寺	正覺寺
第7組	長徳寺			

### ◇敬弔◇(教区通信2月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第6組 廣照寺 前坊守 篠原 宣子 2023年3月20日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

発行責任者 能登教務所長 竹原 了珠  
 発行日 2023年4月28日  
 能登教区教化テーマ 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん  
 慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう  
 能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>